

福井県公共工事入札監視委員会の開催概要について

このことについて、令和元年度福井県公共工事入札監視委員会（第4回）を開催しましたので、その概要をお知らせします。

記

1 日 時 令和2年3月18日（水） 9:00～10:45

2 場 所 県庁3階 第4委員会室

3 出席委員 荒井委員、金崎委員、川上委員、清水委員、藤井委員（五十音順）

4 議事次第

(1) 開会

(2) 議題

- ・入札および契約に係る制度の運用について
- ・抽出事案審議
- ・談合その他の不正行為に関する事項について

(3) その他

(4) 閉会

5 会議概要

(1) 入札および契約に係る制度の運用について（令和元年10月1日～令和元年12月31日）

- ・契約件数、落札率の状況について説明
- ・指名停止の運用状況について説明
- ・総合評価落札方式の実施状況について説明

Q 不調不落の状況について、発注件数が増えていることもあると思うが、原因としては配置予定技術者足りないといった解釈でいいのか

A 手持ち工事が増えることによる配置技術者の不足や、山奥の工事など治山関係の工事等で施工場所が悪く入札を見送るといったことも聞いている。

Q 平準化に向けた工夫は何か。

A 平準化については、常々気を張っている。業界から4～6月に手持ち工事が減ることから、その時期に工事を発注してほしいと聞いており、今年度は国の緊急対策により、河川の伐木などを発注している。

Q 総合評価落札方式「地域防災力維持型」において、7割以上自社施工加点の趣旨はなにか。

A 「地域防災力維持型」は、地域に精通した守り手となる業者を育成するため、土木一式の比較的簡易な工事を対象に、自社施工に対して加点するものである。

(2) 抽出事案審議

ア 抽出事案1

Q 完成はいつか。

A 完成は2年後で、令和4年秋頃開館予定である。

Q 技術提案は具体的にどのようなことを提案しているのか。

A コンクリートに関する提案やアンモニアガス濃度を基準値以下とする提案、ICT等の活用により効率的に施工をする提案、観光地における安全性の配慮をする提案等である。

Q 受注者からはどのような良い提案があったのか。

A 散水、換気、除湿を丁寧に行って、アンモニアガスを完成時に基準値以下とする提案、特殊な機器を用いて密実なコンクリートにする提案、施工合理化のため3次元CADやドローンで出来高の管理をする提案、誘導員を通常より多く配置する提案等があった。

Q アンモニアガスは試験運転などにより発生するものなのか。

A コンクリートに含まれているものであり、鉄筋コンクリートの場合、一般的に基準値以下になるまで二夏程度かかるが、対策を行い、基準値以下であることを確認する。

Q 提案は県が立ち合いして確認するのか。

A 加点に関わることであるため、その都度実施したかきちんと確認する。

イ 抽出事案2

Q 「地域防災力維持型」について、詳しく教えてほしい

A 「地域防災力維持型」は地域に精通した守り手となる業者を育成するため、7割以上自社施工に対して加点するといったものである。自社施工7割以上施工する業者が増えてきており、一定の目的は達成されているが、一方で、地元の下請業者に工事が回らなくなるということもある。下請業者が元請になれる工事を発注できればいいが、発注量も限られるため、業界からも、地元の業者を育成する観点からも下請の活用も同時にすべきという声もあり、昨年度から、下請を認めつつ、自社施工7割を行う業者は加点するという制度設計にしている。下請業者の育成状況や、自社施工7割の加点状況をみながら、今後の制度を考えていく必要があると考えている。

ウ 抽出事案3

Q 一社応札になっているが、この工事は県内業者では難しいのか。

A 過去20年の実績を調べたところ計13者であった。

Q 日本中で13者しかいないということか。

A 県の入札参加資格資格者名簿に載っている業者の実績と考えている。

Q 県内で1者ということになると、同様の工事は同じ結果になるのか

A 実績を求めている部分があるので、業者が限られることはある。

エ 抽出事案4

Q 3者とも町内の業者なのか

A そうである。

オ 抽出事案5

Q 実績を求めているが、県外の業者しか実績がなかったのか。

A 特殊な設計であることや、設計ソフトをもつ業者が少ないため、全国展開している業者が実績をもっているということになる。

Q こういった業務は基準が変わると、再度作り直すことになると思うが、前回のデータや実績が蓄積された業者だと効率的かと思うが、今回の落札者は前回も落札しているのか。

A 前は違う業者であるが、データで管理しているため、引き渡し等は容易である。

(3) 談合その他の不正行為に関する事項について

期間中に談合情報が1件あったことを報告